

ラジオ波による 深部温熱を操る。

深部熱・温熱効果

疼痛の改善

筋痙縮の改善

関節性拘縮の改善



ラジオ波温熱セミナー **東京** ～頸部へのラジオ波ヒートハンドアプローチ～

テーマ 頸部編 (座学 + 実技)

頸部周辺筋の緊張が原因による
頭痛へのアプローチ

日時 2023年2月19日 (日)
10:00～13:00 (受付9:30～)

場所 酒井医療株式会社 本社
新宿区山吹町358-6

参加費 3,000円

タイムテーブル

- ・ラジオ波 座学 (約45分)
- ・ラジオ波 実技① (約60分)
- ・ラジオ波 実技② (約50分)
- ・質疑応答 (10分)

- ・新型コロナウイルスの感染状況により、開催を中止する場合がございます。予めご了承ください。(お申し込みいただいた方には事前にご連絡させていただきます)
- ・マスク着用の徹底、アルコール消毒にご協力をお願いいたします。感染対策にあたりご協力いただけない場合には参加をお断りいたします。
- ・セミナーでの動画撮影(静止画は除く)はご遠慮いただいております。
- ・体感も可能ですので動きやすい服装をご用意ください。
(人数に限りがあり体感できない場合もあります。予めご了承ください)

講師紹介



小林伸勝 (nobukatsu kobayashi)

- ・伸整骨院（大阪府）院長
- ・柔道整復師

お申し込み



お申し込みは左の QR コードより
お願いいたします。

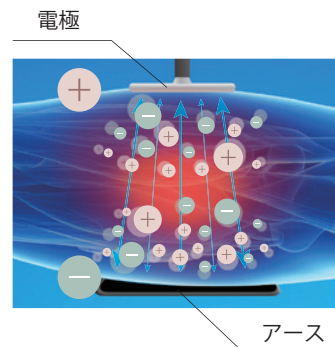
必要情報をご登録をいただくため、お電話からのお申し込みは
いただけませんので何卒ご了承ください。

お問合せ：070-7467-2420（担当：マツオ）

「抵抗の高い場所に温熱が集まる」特性

ラジオ波温熱の原理

電極とアースで体をはさみ、+極と-極を1秒あたり数十万回変化させて体内の分子を振動させることで、分子同士の摩擦熱（ジュール熱）を発生させることで体を温めます。体外から熱を与えるのではなく、体内で熱を発生させる深部加温が可能です。そして従来の温熱機器と大きく異なるのは「抵抗の高い場所に温熱が集まる」というラジオ波の特性にあります。



2種類のプローブで様々なアプローチを実現

軟部組織

筋肉	筋膜	
腱膜	血管	リンパ



硬組織

靭帯	腱	
関節	骨膜	骨



高い疼痛緩和効果と 温熱持続性の実証

15分の施術で、温熱の届く深さは5~10cm、体内温度を3~5℃高めます。施術後も体内温度はすぐに下がることがなく、3~4時間維持される特長を持っています。腰痛を含めた様々な疾患に苦しんでいる患者※の81%に対して痛みの軽減に高い効果が認められています。



※ 引用文献：腰痛に対する静電容量の電気転送温熱療法の臨床効果

Clinical Effect of Capacitive Electric Transfer Hyperthermia Therapy for Lumbago

Kuniyasu Takahashi1), Tetsuo Suyama1), Makiko Onodera1), Shigeru Hirabayashi2), Nobuyuki Tsuzuki2), Li Zhong-Shi2) 1) Department of Rehabilitation, Saitama Medical Center, Saitama Medical School, Kamoda-Tsujidoumachi 1981, Kawagoe City, Saitama 350-8550, Japan 2) Department of Orthopaedic Surgery, Saitama Medical Center, Saitama Medical School J.Phys.Ther.Sci.11:45-51,1999 © The Society of Physical Therapy Science